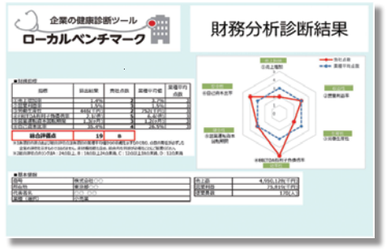
対話により、健全な企業経営と新たな融資の道を拓く

イワサキ経営／吉川正明

経産省の一押しツール『ローカルベンチマーク』とは？

企業と金融機関が経営力、経営状態を共有することで早期の取組みや支援にもつなげることができ、企業の成長性にも目を向けさせる…そんなツール、ご存知ですか？



出展「経済産業省資料」

昨年10月に公表された、金融庁の「金融行政方針」。これにより、銀行融資は転換期を迎えました。これまで、多くの銀行は「過去の財務データ」と「担保・保証」に依存した融資審査をおこなってきましたが、これからはそれだけではなく、「事業の内容・成長の可能性」にも目を向けるようにするという考え方です。これを「事業性評価融資」といいます。

一方で、経済産業省は昨年3月、それまで温めてきた「ローカルベンチマーク」を公表しました。このローカルベンチマーク、いったいどういうものなのでしょうか?

経済産業省のホームページにはこのような記載があります。

> ローカルベンチマークは、企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツール（道具）として、企業の経営者等や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みであり、事業性評価の「入口」として活用されることが期待されるものです。

つまり、事業性評価融資を勧める金融庁と、それを後押しする経済産業省。これまで銀行融資が難しかった会社にも、あらたな銀行融資の道を拓こうというのが「ローカルベンチマーク」の役割でもあります。

また、このローカルベンチマークは、補助金のような国の施策にも関係します。例えば、ものづくり補助金では、経営力向上計画の認定が加点となると明記されていますが、経営力向上計画の作成手引きにおいて「ローカルベンチマーク」を考慮すべきことも明記されています。そして、今後は更にその利用範囲は拡大し、重要性を増してくるでしょう。

そういう意味では、今後中小企業経営者にとって、このローカルベンチマークを知っているのと知っていないのでは大きく差がつくことになります。今のうちにしっかりと勉強し理解しておく必要があります。

ローカルベンチマークの位置づけは？

ローカルベンチマークとは、いわば『健康診断』のようなものであり、経営者と金融機関、支援機関等が企業の経営状態を共有し合い、双方が同じ目線で『対話』を行い、企業経営の健全性を保つことを目的としております。この対話の中で、経営者に『気づき』を得てほしい、『本当に病気になる前に、皆で気づこうよ。』という意図があります。

すなわち、従来、経営コンサルタントが個別に実施していたようなこと、金融機関が独自でやっていたようなことを『国の施策』として一般化することで、社会全体として効率化・発展を図ろうとするものと言えます。

ローカルベンチマークを活用すると？

具体的には「ローカルベンチマークツール」を活用して、財務情報（6つの指標）、非財務情報（4つの視点）に関するデータを入力します。そして、その結果を経営者、金融機関、支援機関が情報を共有し、自社の位置付けについて理解が進み、対話が深まることが期待されます。

ローカルベンチマークを活用することで、企業の経営力を把握することができ、かつ経営状態の変化に早めに気づき、早期の取組みや支援につなげていくことができます。

企業と金融機関との関係は何となく対立し合うイメージがあります。しかし、そのような関係ではなく、企業は金融機関に自社の情報を積極的に開示し、金融機関は企業の財務数値以外の面も評価し、企業の成長性にもしっかりと目を向けるべきで、そのためのツールがこのローカルベンチマークなのです。

詳細は、経済産業省のローカルベンチマークのページをご覧ください。（※ページ下記参照）

エクセルベースのローカルベンチマークツールや利用マニュアルなどもここで提供されています。

まとめてみると…？

このローカルベンチマークは、企業、金融機関、支援機関等が企業の現状や問題点を把握・共有し、どのように改善していくべきなのかを考え実行していくために活用するものです。財務情報については数値で結果が出てきますが、この結果に一喜一憂する必要はありません。経営者が現状を認識して、問題点を今後どう改善していくかが大切なのです。ぜひこのツールを上手に活用していきましょう。

また、当社ではこのローカルベンチマークツールの作成サービスも行っており、今後は、積極的にこのローカルベンチマークについての情報発信を行ってまいります。詳しくは担当者または、当社「財務コンサルティング事業部」までお問合せください。11月13日開催予定の『経営支援セミナー2017』でも、このテーマを取り上げる予定です。ぜひご参加ください。

「企業の健康診断ツール」ローカルベンチマーク診断に必要な2つの枠組み

※経済産業省ローカルベンチマークHP　http://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/